

センサーしきい値を調整する

印刷の際、印刷位置を一定に保つために本プリンターはセンサーを使用しています。使用する用紙に合わせたしきい値調整を行ってください。

- ・ 透過センサー.....ラベル間のすき間（ギャップ）で用紙の頭出し位置を検出します。
- ・ 反射センサー.....用紙の裏面の黒マークで用紙の頭出し位置を検出します。

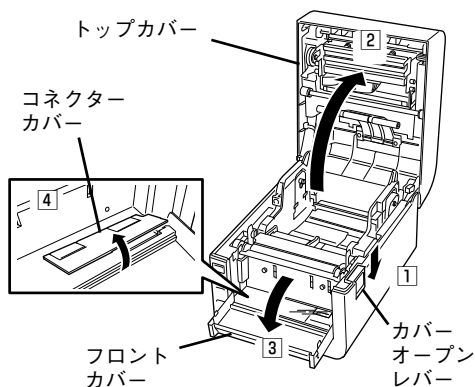
チェック

ラベル紙の種類によって台紙の色や台紙の厚さが異なる場合があります。使用する用紙を変更した場合は、センサーしきい値の調整をしてください。

ここでは、使用する用紙に合わせたセンサーのしきい値調整をする手順を説明します。

1 プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

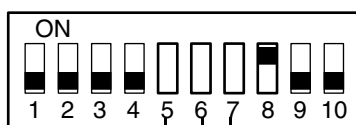
2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



3 DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。

DIP SW5（印刷方式）はお使いの環境に合わせた設定をしてください。

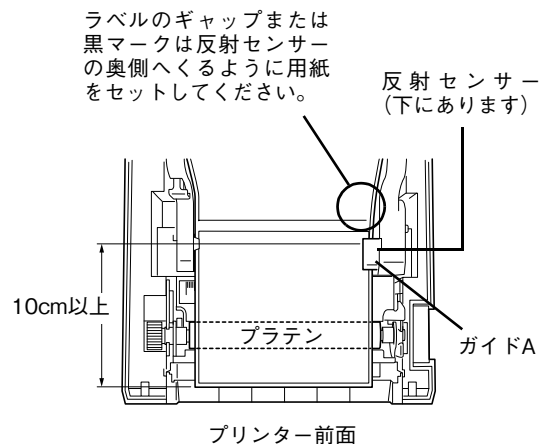
DIP SW6とSW7（用紙頭出しセンサーの選択）は、使用する用紙に合わせた設定をしてください。



SW5 : OFF → 感熱方式 SW6 : ON ・ SW7 : OFF → 反射センサー
ON → 熱転写方式 SW6 : OFF ・ SW7 : ON → 透過センサー

4 用紙をセットします。

用紙がブラテンから落ちないようにブラテン付近と反射センサー付近の間は10cm以上にして用紙をセットしてください。

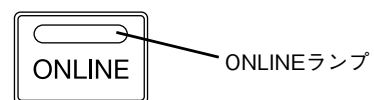


5 コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

6 プリンターの電源スイッチをONにします。

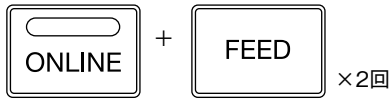
7 ONLINE スイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINEランプが消灯した状態です。



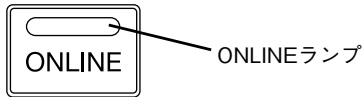
8 ONLINEスイッチを押しながらFEEDスイッチを2回押して調整します。

用紙がフィードされます。フィード中にしきい値が調整されます。



9 フィードが止まったら、ONLINE スwitchを押してONLINE状態にします。

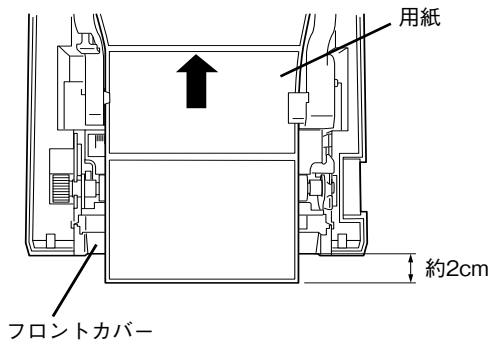
ONLINEランプが点灯した状態です。



10 フィードした用紙を取り除きます。

- 手で巻き取る場合は、電源を ON にしたままトップカバーを開きます（ブザーが鳴ります）。その後、用紙を巻き取ります。
- 用紙を切り取る場合は、はさみなどを使って、ていねいに切り取ってください。

用紙を取り除く際、フロントカバーより約2cmほどプリンター前面側にはみ出る程度にしてください。



11 DIP SWの設定を使用する際の設定に戻します。

DIP SWの設定を変更する前にプリンターの電源をOFFにしてください。

12 コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。コンピューターから印刷を実行すると、自動用紙先頭位置合わせ機能により、用紙先頭から印刷を行うことができます。

チェック

- しきい値が設定できなかった場合は、7セグLEDに“E”を表示し、ERRORランプが点滅します（ブザーを鳴らす設定をしている場合はブザーも鳴ります）。
- ラベルのギャップ（透過センサーの場合）または黒マーク（反射センサーの場合）がはっきり認識できるように用紙のプレ印刷の内容を薄い色にすることをお勧めします。